

科目番号	科目名	学年	科目目的	到達目標	ディプロマ・ポリシーの項目番号												
					凡例：◎ディプロマ・ポリシー達成のために特に重要な科目 ○ディプロマ・ポリシー達成のために重要な科目												
					1. 知識・理解			2. 技能・表現			3. 評価			4. 態度・志向性			
1-1	1-2	1-3	2-1	2-2	2-3	2-4	3-1	3-2	4-1	4-2	4-3						
18JPWC2043	心理検査法の実践	2	実際の作業を通して、心理検査の目的、方法、結果（所見）の解釈の方法、さらに心理検査の効用と限界について学ぶことにより、心理検査法の全体像を理解する。	心理検査が実施される目的を的確に理解する。そして、比較的実施しやすい検査（たとえば知能、神経心理、性格検査）の方法にある程度習熟し、その所見について適正な報告書を作成できる能力を身につける。	◎			○				○					
18JPWC2053	恋愛と結婚の心理	2	女性のキャリア形成・自己実現にとって重要なイベントである恋愛、結婚、家族形成にかかわる諸問題について、心理学およびその関連諸科学（社会学、経済学、人類学、生物学等）の観点から理解し、女性としての自らのキャリアデザインへの実践知を高める。	1. 女性のキャリア形成において恋愛と結婚がどのような問題をはらんでいるか理解する。 2. 現代の若者の恋愛・結婚を巡る状況を統計資料から理解する。 3. ヒトの繁殖行動を進化生物学の観点から理解する。 4. ヒトの生後初期の発達の生物学的・心理学的特殊性を理解する。 5. 恋愛・結婚の問題を経済学的視点から理解する。 6. 以上を通じて、恋愛と結婚を自分のキャリアの問題として考える。	◎				○	○		○	○	○	○		
18JPWC2063	高齢者の心理学	2	わが国では周知のとおり、急速な高齢化社会を迎えており、今後高齢期というものに対する世の中の関心はますます高まっていくことが予想される。高齢者の心理的特徴を概観した上で、高齢者の心理的問題について理解を深め、心理援助に関する基本的な知識を身につけることを目的とする。	1. 高齢者と若年者の心理・精神機能で共通するところと異なるところは、それぞれどんどこかを概ね理解する。 2. 何らかの心理的問題を抱えた高齢者に対する心理援助の方法、種類などについて、簡単に説明できるようになる。	◎	○			○			○	○	○	○		
18JPWC2073	リスクと安全の心理学	2	我々が主観的にリスクをとらえる心理のプロセスを理解する。さらに、主観的に感じるリスクと実際のリスクの間に生じるズレにより生じる事象について理解を深める。	1. リスク認知に関する心理のプロセスについて理解している。 2. 日常生活におけるリスクに気づくことができる。	◎					○		○	○	○	○		
18JPWC2083	プロジェクトマネジメントの実践	2	プロジェクトマネジメントをとおして、計画の重要性や問題解決の方法を体験的に学び、自ら考え抜く力を身につける。また、コミュニケーションやチームワークの重要性を認識し、自らチームメンバとして参画することで人々と関わりあって物事を進めることの楽しさや効率の良さを学びとる。	この講義をとおして以下の知識や能力を習得し、社会で十分に発揮できることを目標とする。 (1) プロジェクトマネジメントに関する知識の理解 (2) プロジェクトマネジメント手法の理解 (3) 実現可能性が信じられるゴールを設定し、それに向けた道筋を明確にして実行する。 (4) なぜを繰り返すことで自ら考え抜くことができる。 (5) ファシリテーション技術を習得する。 (6) コミュニケーションマネジメント（傾聴他） (7) チームを理解し、チームメンバとして能力を発揮する。 (8) プロジェクトを進める上で考えるべき、品質、コスト、工程、環境等多様な情報に基づき問題を解決することができる。								◎	◎	◎	○	○	○
18JPWC2093	現代社会と福祉	2	現代社会における福祉制度の意義、福祉政策、ニーズと社会資源、相談援助活動との関係など、社会福祉についての理念、価値を理解する。	社会福祉の理念や価値を理解して行動できるようになる。								◎					◎
18JPWC2103	こども家庭福祉	2	現代社会において、こどもを取り巻く環境が厳しくなっており種々の事柄が社会問題となっている。こどもを取り巻く社会を理解し、こどもや家庭への支援について考える。	理解に基づいて、活動できる基本的な知識を身につける。								◎					○

科目番号	科目名	学年	科目目的	到達目標	ディプロマ・ポリシーの項目番号																
					凡例：◎ディプロマ・ポリシー達成のために特に重要な科目 ○ディプロマ・ポリシー達成のために重要な科目																
					1. 知識・理解	2. 技能・表現	3. 思考・判断	4. 態度・志向性	1-1	1-2	1-3	2-1	2-2	2-3	2-4	3-1	3-2	4-1	4-2	4-3	
18JPWC2113	介護とリハビリテーション	2	1. 介護とリハビリテーションの概念について理解する。 2. 介護職に必要な職業倫理、専門知識について理解する。 3. 介護の技法（生活支援技術）について理解する。	1. 介護の概念や対象を理解し説明することができる。 2. 介護予防とリハビリテーションの基本的な考え方を理解し説明することができる。 3. 介護の技法（生活支援技術）の基本を理解し説明することができる。 4. 認知症ケアおよび終末期ケアについて理解し説明することができる。		◎															
18JPWC2123	家族の心理と福祉	2	私たちはみな、家族という最初の社会化の場で生活し、様々なことを学んでいる。しかし、時代の移り変わりとともに家族形態も変化し、家族の役割も変化してきている。変化する家族機能の背景を理解し、家族の中で生活するその時々課題について心理・福祉的アプローチを考える。	1. 家族の機能と役割を踏まえ、家族が成長する時々に生じる課題と解決策について考える。 2. 多様化する家族観の理解に努め、柔軟な思考を醸成することができる。	◎	◎								○		○	○	○	○		
18JPWC2133	女性と法律	2	これからの社会を生きるにあたり大切となる法律について、その基本的知識、考え方、社会的背景について理解を深める。現代の女性が置かれている状況を具体的事例に即して考察し、その中での法律の役割、課題を考える。	以下のような素養・能力を身につけることを到達目標としている。 (1) 就職や結婚、相続など、人生の節目における法的なポイントに関する知識・理解力 (2) トラブルに遭遇した時に法的な解決策を見出すための知識、論理的思考力 (3) 法律を通して現代社会の課題を見出す探究心 (4) 法律を担う市民としての社会的責任感																○	
18JPWC2143	健康と医療サービス	2	健康と医療は人生における重要な関心事である。健康と保健医療福祉分野をめぐる現状をよく知り、私たちの健康に絡む今後の課題について理解を深める。 受講生一人ひとりが、健康とは何か、より良い保健医療福祉サービスとは何かを考える機会とする。	1. 今日における保健・医療・福祉サービスの現状と課題を理解することができる。 2. 医療ソーシャルワーカーが保健医療分野に存在する意義について説明することができる。		◎								○						○	○
18JPWC1153	レクリエーション概論	1	レクリエーションについての基本的理論を理解し、現代社会における課題からレクリエーションの果たす役割、意義についての基盤を築く。	1. レクリエーションの基本的な考え方を理解し、現代社会の課題を踏まえてレクリエーションの内容が多岐にわたることを理解することができる。 2. レクリエーションの歴史を学び、その定義や捉え方が時代とともに変遷していることを知り、現在のレクリエーションの定義について、認識を深めることができる。 3. コミュニケーションの原点であるアイスブレイキングとホスピタリティについて学び、その手法を習得する。 4. 行事の企画と運営の方法について学び、反省評価も含めて企画できる能力を習得する。			◎	○	○							○	○	○			
18JPWC1163	レクリエーションアクティビティ	1	さまざまな領域の人々が楽しさを体験できる活動を活用しながら、関係を構築する能力、問題を理解し解決する能力、自己を表現する能力を高める。	1. 意図的なグループ経験を通じて、社会人になる準備として必要なコミュニケーション力を身につける。 2. 個人が社会の中で機能し、個人、集団、地域社会の諸問題により効果的に対処するための「姿勢・態度・行動」を習得する。			○	○	◎					○							○

科目番号	科目名	学年	科目目的	到達目標	ディプロマ・ポリシーの項目番号																					
					凡例：◎ディプロマ・ポリシー達成のために特に重要な科目 ○ディプロマ・ポリシー達成のために重要な科目																					
					1. 知識・理解			2. 技能・表現			3. 判断			4. 態度・志向性												
					1-1	1-2	1-3	2-1	2-2	2-3	2-4	3-1	3-2	4-1	4-2	4-3										
18JPWC1173	コミュニケーションワークの基礎	1	多様なライフステージに応じた芸術・文化活動、各種ニュースポーツやグループゲームなどの体験学習を通して、それぞれの種目を指導できる基礎的技術を身につけることを介して、コミュニケーション能力の基盤を築くことを目的とする。	1. 各種目特性の理解を深め、実際に種目を実施できる。 2. 各種目に対する技術的な指導から参加者をまとめるリーダーシップを指導場面において適切に示すことができる。 3. 対象者が楽しく参加できるように、実践的な場でのコミュニケーション能力を身につける。									○	◎			○				○	○				
18JPWC1183	コミュニケーションワークの応用	1	「コミュニケーションワークの基礎」で習得したコミュニケーション能力に、さまざまな活動の指導や行事の企画と実践的な運営などを通して、今後のキャリアアップにも有効な臨機応変な応用力を加味することを目的とする。	1. 「楽しい集い」を演出するプログラムをPDCAサイクルに基づいて実践できる力を習得する。 2. 集団の中で発揮できるリーダーシップ力を習得する。 3. 集団生活の規律を遵守することができる。									○	○	◎			○	○			○				
18JPWC2153	レクリエーションマネジメント	2	レクリエーション指導（支援）の意味を理解し、レクリエーションを総合的に支援する「マネジメント」に必要な資質を身につける。	レクリエーションが展開されるさまざまな分野において対象者のニーズを把握し、レクリエーションを組織的・計画的に展開するための理論と方法を修得する。									○	○	○	○		◎	◎							
18JPWC2163	障害とスポーツレクリエーション	2	障がいを持つ人が行うスポーツやレクリエーション活動に関する知識や技能の基盤を実践を通して築く。	1. 主に初めてスポーツやレクリエーション活動をする障がい者に対し、参加することの喜びや楽しさを重視したスポーツやレクリエーション活動の導入を支援するために必要な知識と技能を習得する。 2. スポーツやレクリエーションプログラムの立案、企画、実施、評価という一連のプロセスを実践できる場面を通して、指導者に求められる能力を習得する。												◎		◎	○		○		○			
18JPWC1193	オフィスワークの英語Ⅰ	1	社内の公用語を「英語」とする日本企業があらわれ、会社の規模にかかわらずグローバル化をすすめる会社が増えている。もはや英語は一部の部署のみで必要とされる特殊能力ではない。そんな社会で今後活躍が期待される受講生が「英語力」で不利益を被ることがないようビジネスに必要な基礎力を身につけることを目標とする。	1. 英語で自己アピールできる。 2. 短大で学んでいる内容について英語で簡潔に説明できる。 3. 部署名を英語で理解できる。 4. 基本的な電話応対ができる。 5. ビジネスレターのフォーマットが理解できる。												◎	○	○			○	○	○			
18JPWC2173	オフィスワークの英語Ⅱ	2	社会人としてオフィスで通用する英語力を身につける。	1. ビジネスシーンで初対面の相手にスマートに自己紹介できる。 2. 電話応対がスムーズにできる。 3. ビジネスレターを読んで大枠を理解することができる。													◎	○	○			○	○	○		
18JPWC1203	オフィスワークの会話表現	1	社会で必要なビジネスシーンでの会話表現（日本語）を学習する。職場のルールや仕事の進め方を知り、適切な応対ができる人材を育てることを目的とする。	1. 適切な敬語表現を用いることができる。 2. 適切な電話応対ができる。 3. スマートな名刺交換の実践。 4. メールなどネット上のマナーを身につける。 5. 冠婚葬祭に対応できる力を身につける。													◎	○	○			○	○	○		
18JPWC2183	オフィスワークの情報処理	2	情報技術の中でも、文章作成や表計算は実用性・応用性が高いことから、社会人として身につけるべき必須能力といっても過言ではない。本授業の目的は、ビジネス場面において多く用いられる文章作成や表計算の学習を通じて、一般的な社会人に要求される文章作成能力および表計算能力を身につけることである。	一般的な社会人に要求される文章作成能力および表計算能力を身につける。																			○	◎		○